肝臓のはたらき　肝腎な臓器

　肝臓は血液が大量に流れ込む器官で，化学反応が盛んだ。肝臓に流れ込む血管の中でも，小腸から肝臓に流れ込む（ア　　　　　　）という血管では，（イ　　　　　　　）の濃度が人体を流れる血管の中で最も高い。肝臓は（ウ　　）ｍｍほどの（エ　　　　）からできていて，（エ　　　　　）はさらに（オ　　　　　）からできている。肝臓はたくさんのはたらきをしているがここでは一例を挙げてみよう。

　①解毒作用

有毒な物質である（カ　　　　）を無毒な（キ　　　　　）にする。

　　 ちなみにお酒に含まれる（ク　　　　　　　）もここで分解される。

　②血糖濃度調節

血液の中の（イ　　　　　）を血糖という。その濃度は（ケ　　）％。その濃度を一定に保つために，小腸から流れ込んだ（イ　　　　　　）を（コ　　　　　　）に合成する働きを行っている。

　③血しょうに含まれるタンパク質の合成

　④（サ　　　　　）の生成

（サ　　　　　　）内に含まれる（シ　　　　　　）は赤血球に含まれる（ス　　　　　　）が分解されてできる。

食事した後，肝臓に（コ　　　　　　）が蓄積される流れについて説明してみよう

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

体を動かすと（イ　　　　　）が筋肉で分解されて低血糖になる。低血糖状態から血糖量を増やす流れについて説明してみよう

①

②

③

④

血糖量が少なくなると（コ　　　　　　）から（イ　　　　　）を作る以外にも筋肉を（タンパク質）分解して得られた（セ　　　　　　）から（イ　　　　　）を作っている。この反応を（ソ　　　　　　）という。